

町民と議会をむすぶ

# 町議会 だより

 池田町

VOL. 25

令和5年7月1日発行

## 【3月定例会】

施政方針及び議案審議 ..... 2～3

町政に問う 一般質問 2人が登壇 ..... 4～5

### 委員会審議

総務厚生常任委員会 ..... 6～7

文教経済常任委員会 ..... 7～9



下池田地区の山林で樹齢200年を超える杉の大径木を伐採している様子です。池田の杉は価値が高く、「池田杉」や「足羽杉」というブランドがついています。池田町には、こういった立派な森林資源がまだ数多く存在しています。

これらの森林資源の活用に向け、町では、役場新庁舎建設にあたり地元産材の活用やバイオマス事業に取り組むことを考えております。また木望の森100年プロジェクトなどによる木材活用や森林整備事業を推進していきます。



# 3月定例会

(令和5年3月9日～17日開催)

3月定例会が3月9日から17日の9日間にわたり開催され、専決処分及び一般会計及び各特別会計の令和4年度補正予算、令和5年度当初予算及び条例に関する議案など、計28議案が提出され、全議案可決されました。

## 主な議案は次のとおり

議案第2号	令和4年度 池田町一般会計補正予算(第11号)	
議案第3号	令和4年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	…議案第2号から議案第8号では、令和4年度補正予算として、ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備オープン経費835万8千円を追加補正のほか、各特別会計を補正。
議案第4号	令和4年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第4号)	
議案第5号	令和4年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第5号)	
議案第6号	令和4年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第5号)	
議案第7号	令和4年度 池田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第8号	令和4年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第5号)	
議案第9号	令和5年度 池田町一般会計予算 …新庁舎・新図書館の用地取得及び整備費5267万6千円など、総額39億3450万円。	
議案第10号	令和5年度 池田町国民健康保険特別会計予算	
議案第11号	令和5年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計予算	
議案第12号	令和5年度 池田町簡易水道特別会計予算	…議案第10号から議案第16号では、医療福祉の充実及び上下水道施設の長寿命化など、特別会計総額6億7040万円。
議案第13号	令和5年度 池田町下水道事業特別会計予算	
議案第14号	令和5年度 池田町農業集落排水事業特別会計予算	
議案第15号	令和5年度 池田町介護保険特別会計予算	
議案第16号	令和5年度 池田町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第17号	池田町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	…議案第17号から議案第19号および議案第22号は、個人情報の保護に関する法律の改正等に伴い、池田町議会および池田町の個人情報保護の各条例を改正。
議案第18号	池田町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	
議案第19号	池田町個人情報保護審査会条例の制定について	
議案第22号	池田町情報公開条例の一部改正について	
議案第20号	池田町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について …地方公務員法の改正に伴い、退職年齢の引上げなどの条例を改正。	
議案第21号	池田町まちづくり自治基金の設置、管理及び処分に関する条例の全部改正について …池田町に寄せられる「ふるさと納税寄付金」の活用に関する条例を改正。	
議案第23号	池田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について …会計年度任用職員の住居手当に関する条例を改正。	
議案第24号	池田町国民健康保険税条例の一部改正について …国民健康保険税の税率を改定する条例を改正。	
議案第25号	池田町国民健康保険条例の一部改正について …健康保険法施行令等の改正に伴い、出産育児一時金に関する条例を改正。	
議案第26号	溪流温泉「冠荘」の設置及び管理に関する条例の一部改正について …燃料高騰などに伴い、冠荘の料金に関する条例を改正。	
議案第27号	池田町志津原地域リゾート施設の設置及び管理条例の一部改正について …管理施設の管理を図るため、所要の規定を改正。	
議案第28号	池田町わんぱく冒険の森の設置及び管理に関する条例の一部改正について …ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張に伴い、施設の名称および利用料金に関する条例を改正。	
議案第29号	公の施設の指定管理者の再指定について …指定管理期間が満了となる3施設の指定管理を再指定。	

■ 議案第9号、10号、24号、26号、28号は、宇野邦弘議員が反対 ■ 議案第26号は、岩崎議員が反対

# 町長施政方針及び諸事の報告



## 3月定例会

### 「増し算の施策」と「足し算の施策」による町政の充実

事業を加えていくという「足し算の取り組み」ばかりを重要視するのではなく、現行の多岐多様な取り組みや事業の磨き上げを行うことで、各種事業の品質や魅力、機能の向上化を図る「増し算の取り組み」を進めることにより、住民福祉の充実・強化を図りたいと考えております。

### 「仮称：ファーマーズ除雪隊」の編成・運用

冬の除雪作業従事者においては、高齢化による技術継承の不安や後継者難による労働力確保への不安が表面化していることから、池田町建設協会からの提案に基づき、農閑期の農業者や農業機械を活用しての除雪隊ができないかを考えております。

### 「仮称：図書公民館ブック・アンド・コミュニティセンター・ツドエル」の開設

図書館の開発センター移転に伴う仮設実験事業として、この秋には移転開設したいと考えております。

### 「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備」

デンマークにて製作中の大型遊具である「仮称：王家の山」が完成する8月にはランドオープンを計画したいと考えております。

### 「新庁舎・図書館整備事業」

基本設計作業を夏までには完了させ、実施設計作業に入り、木造化はもちろん、木材調達事業として、またバイオマス熱エネルギー活用事業や図書公民館事業の拠点、行政サービス窓口のワンストップ化などを本格化させていきたいと考えております。

## 令和5年度当初予算 主な事業 (1万円未満切捨て)

○道のオアシスフォーシーズンテラス整備費	3億4039万円
○能楽文化振興費(能面公募、薪能など開催費)	1396万円
○ウッズスポーツ振興費(ゲッター選手権開催費)	920万円
○いけだ恋い・来い・濃〜いキャンペーン費(観光情報発信費)	2992万円
○有害鳥獣対策費	2355万円
○あぐりパワーアップセンター施設修繕費	6153万円
○子育て家庭支援(ママがんばる手当事業など)	1245万円

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

## 一般質問

### 「七か条作成の経過と広報に掲載した理由は」



宇野 邦弘 議員

「池田暮らしの七か条」の広報掲載を巡って全国に悪いイメージが広がり、多くの町民が嫌な思いをした。「都会風吹かすな」「品定めされていると自覚を」など時代錯誤もはなはだしいもの。ある移住者は、「本当に心外。池田が好きで移住してきたのに、傷つけられた。情けない。文書を撤回し、謝罪してほしい」とも語っている。

「七か条」の経過で、誰が文書を作ったのか。広報に掲載する判断は誰が行ったのか。町長も広報で、「七か条は先進的な取り組み」と評価しているが、文言に疑問を持たなかったのか。

総務財政課長 3回の役員会で空き家や廃屋や移住

者との摩擦等について意見が出された。七か条は、全国の事例を参考に、12月の区長会で決められたもの。今後の移住者受入れに向け、広報でも住民の皆様へ周知すべきと判断した。

町長 町報掲載への了解を最終的に決裁したのは発行責任者の私。区内で発生した摩擦的なことが1つや2つではなかったと聞いている。こういう文書で区長会の意図するところが上手く社会に伝わらず不快に思われた方がいることは大変遺憾で残念。ただ、集落のテキストづくりも合わせてやるんだということへの評価も頂ければと思います。

## 一般質問



丸石 純一 議員

### 新たな子育て支援を

児童福祉費は238万円の減額となっている。この減額が予想される予算について、新たな支援事業をしたり、既存の支援の拡充など検討できないか。

保健福祉課長 「子育て

世代への新たな支援策については、児童福祉費が減額となった原因は、対象となる子育て世代が減少したこと。こちらの児童福祉費では、町独自の事業として「ママがんばる手当」「子育て世代向けエコーカー購入支援事業」「ようこそ赤ちゃん事業」を池田町で子育てする世代を応援する目的で実施している。令和5年度の当初予算においては引き続き事業を実施する。

また国の方では異次元の少子化対策の実施を打ち出して今年1月1日から妊娠出産した方を対象に10万円を支給する出産子育て応援給付金がスタートした。4月からは出産育児一時金が原則42万円から50万円に増額される予定である。しかし今のところ、それ以外の事業や規模、実施時期について明確な物は示されていない。政府は6月に具体策を示すこととなっている。その動向を踏まえて、今後の新たな支援策へ拡充を検討していきたい。

## 町花のシャクナゲについて

町の花としてシャクナゲが指定してから50年。町花であるシャクナゲの保存と対策をどう考えているのか。「シャクナゲの会」の方たちが町内に看板を4か所設置しているが、うち1か所の町有地への設置は断られたとのことだが、なぜか。

教育委員会事務局

「シャクナゲの会」が加盟している町の文化協議会への助成を通じて活動を支援している。看板については、町の屋外広告物条例によって広告物の設置が原則禁止されている場所であったため、断ったもの。



▲シャクナゲの会の看板

## 軍事拡大・増税狙う岸田政権について町長の見解は

岸田政権は、軍事費を今後5年間で倍に増やし、財源は増税と社会保障の削減などをやろうとしている。

先制攻撃能力を持つことは、日本が反撃される危険も強まること。そうなれば、原発も無傷であると誰も保証できない。魚見地区も敦賀原発の30km圏内になり、緊急時の安定ヨウ素剤の事前配布を求めたい。杉本町長

はどうか考えているのか。

総務財政課長 ヨウ素剤の事前配布については、保管方法や更新など細かい手続きを踏まえたうえでないと、事前配布は行えない状況。

町長 国防・国家安全保障ならびにエネルギー政策というのは、国の重要課題であり国会で審議されるべきものと考えている。

## 国保税の値上げはすべきでない

国民健康保険税の値上げの理由として「1人当たりの医療費が県内でトップクラスだが保険税額は県内で2番目に安い」「県への納付金も財源不足で基金や他の公費で補っているから」としている。しかし、ペナルティのない一般会計からの補填策もある。また、基金のさらなる活用で納付金を作ることは可能でないか。町内479人の国保加入者は自営業者やお年寄りなど

弱立場の人。他の町に比べて医療費が高いからといって、県が言う通り値上げすることはいいかが。

保健福祉課長 国保税は受益者負担の原則に従い運営すべきであり、一般会計繰り入れによる税額抑制は考えていない。保険料率が令和10年代には県下統一され、それに向けて段階的な税率改定の実施が必要だと考えている。

## 敬老会の開催について

敬老会を開催する方向を前提に、不安で今年はもう1年参加を見送ろうかという方には、ごちそう券の配布をする予算を新規で検討できないか。

保健福祉課長 敬老会は

令和2年度から今年度までの3か年、新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止し、代替事業として町内の漁商組合や酒販組合等で使える「敬老ご馳走券」を1人2000円お配りした。



▲2019年9月の敬老会

本議会に上程した来年度の予算については、コロナ禍前の一堂に会して実施し、欠席された方には敬老会名簿等をお配りする内容にて予算を計上しており、欠席された方へのご馳走券の配布の予算は、計上していない。

これを機会として敬老会開催についての見直しにあたりたい。コロナ禍の前とは後では生活様式や考え方が

## 地域で学べる環境作り

池田学のような地域全体、老若男女で学べる機会の場、新年度予算または事業などにおいて検討できないか。

教育委員会事務局

コロナ禍の3年間は公民館での地域活動は企画していないが、農村de合唱キャンプセンターで子どもキャンプを実施した。

来年度も子どもキャンプほか、親子で農村体験、プロ

グラムなど地域住民と協同で実施する予定。また今後、図書館・公民館機能を融合した事業を検討して生涯学習、社会教育活動の充実を図る中で地域を知る、地域を学ぶ企画なども取組みたい。

# ◎総務厚生常任委員会

## 交通安全対策

**飯田議員** 交通安全対策の免許自主返納事業について、これまで車購入などの補助を出していたが、これまでの実績と今後の考え方はどうか。

事故の危険性が高い、マイカーの十字路に信号機は付けられないか。

**総務財政課長** 車購入補助については、昨年度より無くなっている。以前はサポートカーが売られ始めたこともあり、その支援として補助を出していたが、現在は、サポートカーしか販売されていないこともあり、補助はやめた経緯がある。その代わり、アクセルの踏み間違えを防ぐ装置購入補助は行っているが、利用者が少ない状況。年間4〜5件程度の利用がある。



▲十字路交差点の様子

マイカーの十字路交差点の信号については、町土整備課にて県と調整しているが、設置には至っていない。

**丸石議員** 防災行政無線について、LINE(※1)活用の運用について確認したい。

**総務財政課長** 防災に関する情報は、同報無線で町民に周知している。その中でも緊急性の高い内容は、LINEに登録されている方へ送信している。

また町外の方へはLINEしか連絡できないので、LINEを活用する。

**松井議員** 老人福祉費で、緊急装置対応整備委託事業は、どこかの警備会社に頼んでいるのか。緊急の際は、どうなるのか。

**保健福祉課長** 警備会社に委託している。緊急時は、警備会社が直接、当該者の自宅に向かう。

なお、その装置は保健福祉課から貸出しているが、本町に住所を有し、おおむね65歳以上の病弱な一人暮らし世帯、障害者のみの世帯に属する方に貸出している。

## 情報システム管理

**丸石議員** システム委託料について、高額すぎないか。被害などが出てはいけ

ない部分なので、高額なシステムになることは仕方ないが、見積業者を増やすとか、今後クラウド化(※2)が進めば安くなるような検討はしないのか。また、今後、他のシステム改修はあるのか。

**総務財政課長** システム改修については、クラウド化が進んでいる。その結果、クラウドのサーバー(※3)の使用料がかかっている。システムは福祉や税や、いくつもある訳であり、トータル的には高額になっている経緯がある。

**松井議員** 診療所でも、電子カルテのクラウド化について、どう考えているのか。

**保健福祉課長** 診療所では、昨年度、電子カルテの入替えを行った。この際に、クラウド化も検討したが、池田診療所の規模なら、サーバーで管理する方がコスト安になるため、サーバー管理となった。



- ※1 無料でメッセージのやりとりができる携帯の機能の一部
- ※2 既存のシステムや業務をインターネットで繋がっている別の事業者に移して作業をすること
- ※3 なんらかのサービスを提供するコンピュータの事

**丸石議員** 池田町内で結婚された夫婦の数などは把握しているのか。池田町を選んでは定住して下さる人の数を把握するうえでも重要な数値につながると思う。

**保健福祉課長** 結婚した夫婦の数は住民税務課としては把握している。保健福祉課としては、子どもができて若く夫婦の数については把握している。

**宇野邦弘議員** 滞納整理機構への職員派遣をやるのか。

**住民税務課長** 滞納整理機構への職員派遣はない。逆に市町の要望に応じ、機構から市町へ職員を派遣し、滞納の回収が困難な事例に対応することになっている。

# 質 疑 応 答

## 保健福祉関連

**宇野邦弘議員** 引きこもりサポート事業について、状況はどうか。不登校時の対応もしているのか。

**保健福祉課長** 現在、保健師や委託事務所のサポートにより成果につながっている。不登校についてもサポートセンターで対応しているケースもある。

**和田議員** ほっとプラザ新駐車場整備について、新しい駐車場から重病の方が歩くのは苦しいと思うが、どうか。

**保健福祉課長** 重病の方などが近くの駐車場に停められるよう、現在の正面駐車場の在り方についても検討する。

**松井議員** 介護と障害認定審査会について、認定する委員は町内にひとりもないが、将来的には町内の人があるべきではないか。

**保健福祉課長** 認定調査票と主治医の意見書を基に、保健、医療、福祉に関する学識経験者で構成される認定審査会で介護度を判定をされるが、公正公平を期すため、個人を特定する情報は削除されることから、町内の人がいなくても、不都合は生じないと考える。

**宇野邦弘議員** 要支援が増えて、要介護が減っているらしいが、これは脳べるプロジェクトなどの効果によるものか。

**保健福祉課長** 要介護が減ったのは、高齢化が進み「頭打ちになった」と想定する。要支援が増えたのも高齢化により、新規の方々が出始めたと考ええる。



# ◎文教経済常任委員会

## 地域分散型町営住宅建設・用地

**宇野一正議員** 令和4年11月に工事発注しているが状況を確認したい。

**宇野邦弘議員** 事業が繰越となっている理由は何か。

**町土整備課長** 用地は、事前の簡易的な土質調査では、ある程度の岩石等があることは把握したが、埋設量も想定以上に多く、掘削したところ巨石やコンクリート破片などが大量に見つかり、除去作業が新たに必要になったため時間を要している。



▲建設中の町営住宅

## 「木になる紙」事業

**丸石議員** 「木になる紙」事業について、いつ頃完成して、どのくらいの量になるのか。

**木望の森づくり課長** 予算は、紙の材料となる木材の積込経費を計上。想定量はA4用紙の箱ベースで2489箱分。令和4年は48箱納入している。

## 林道整備

**宇野邦弘議員** 地方創生道整備交付金を活用した野尻一千代谷線の現状と今後の見込みを聞きたい。

**木望の森づくり課長** 全体計画では約6800Mの開設を考慮していて、現在約4700Mまでできている。これは国庫の地方創生道整備交付金を活用している。また滝の谷線は、全体計画で約7500M。現在約5200Mまでできている。

## 新保ファミリースキー場の用地取得

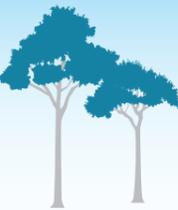
**宇野一正議員** 新保ファミリースキー場の用地取得場所はどこか。

**農村政策課長** ロッジ下の敷地である。次年度には

交渉がまとまる見込み。新保ファミリースキー場用地については、地主の了解を得ているが、手続きに時間を要している。



# 質 疑 応 答



## 簡易水道の修繕・漏水・長寿命化

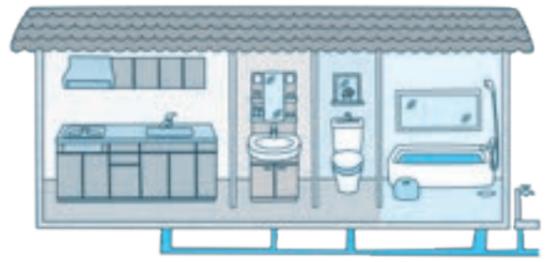
**丸石議員** 今後人口減少が進む中で、簡易水道施設を維持修繕するためには、個人の負担割合が大きくなっていくと思うが、どう考えているのか。

**佐野議員** 将来的に、漏水対策や修繕工事などを行う財源として、積立金が必要ではないか。

**町土整備課長** 現状では、個人負担は大きくないが、今後よく検討していきたい。簡易水道の基金はあるが、積立金はない。将来的には必要と考える。

**副町長** 現在、利用料金を修繕等の経費に充てていて、積立金に充てる財源はない。積立するには、料金を上げ財源を確保する必要がある。これは難しい。現在のような漏水対策に取り組み、施設の長寿命化がベストと考える。

**丸石議員** 畜産費の施設修繕整備について、具体的に聞きたい。また能楽の里牧場の今後の使い道はどうするのか。



**佐野議員** 地中に埋設してある水道管の漏水をどうやって調査し、漏水場所を探すのか。

新たな管の敷設工事の進捗状況はどうか。

**町土整備課長** 家庭での水の利用が少なくなる深夜に調査する。各配管の分岐点にある仕切弁を開け閉めし、その際の配水池の流量計の変化でおよその場所が想定できる。想定地付近では、専用機械で漏水の音を探り、明確な地点を発見する。

更新は配管の古い地区である、中区や角間地区が必要であり、現状10〜15%程度だと考える。

**丸石議員** 水道に関する3つの特別会計について、今後人口が減少する中で施設や機器類がどう維持されていくのか。試算をしているのか。

更新は配管の古い地区である、中区や角間地区が必要であり、現状10〜15%程度だと考える。

10年後の利用料はどうなるのか。人口が減ってきたから上げるのではなく、ある程度の試算に基づき上げるべきではないか。

**町土整備課長** 試算などは特にならない。これらの施設や機器類は長寿命化や漏水対策が必要。

令和6年4月より3つの特別会計は、2つの公営企業会計になるので、その時が契機。

## 水海地区土地改良

**佐野議員** 水海地区土地改良事業について、具体的な計画を確認したい。

**町土整備課長** 約45haの土地改良で、令和6年当初に県営工事として新規採択を目指している。令和5年度は町が主体で現在の土地状況調査を行う。また県が主体で、実施計画作成事業費として780万円を予定。内、町の負担が1/4の195万円が必要。

稲荷〜水海線トンネルの掘削残土を活用する予定。

## あぐりパワーアップセンター

**松井議員** あぐりパワーアップセンターの投入システムを計上しているが、どんな構造とシステムになるのか。

**丸石議員** 経営構造対策事業費で地方債4800万円の内、補助的なものはあるか。

**町土整備課長** 破碎した食品資源をコンベアで運ぶシステムを変える。具体的には、最初の投入口やコンベア、発酵槽との壁などを撤去し、トラックで運ばれた食品資源をトラクターに付けたモアで粉砕。食品資源を発酵槽へ直接入れる仕組みを考えている。

建築を主とする4780万円、監理費280万ほど。内、地方債4800万を充当させるもので、補助はない。



## 農業振興関係

**丸石議員** 畜産費の施設修繕整備について、具体的に聞きたい。また能楽の里牧場の今後の使い道はどうするのか。

**農村政策課長** 牧場管理棟から200mほど手前路肩が浸食されている。その部分にかご枠を積んで路肩を維持復旧させる。

今後、牧場内の環境維持と登山者等の安全確保の観点からも維持管理を考える。

**佐野議員** 地域農政振興費について、町長は施政方針で景観対策等の審議会を設けると説明していたが行政関係の審議会は設けないのか。例えば、生命に優しい米づくりは、浸透してきていることは良いがマンネリ化し、前年踏襲的なやり方になっていて、もう一度、みんなで話し合い、見直す時ではないか。

**農村政策課長** 現状では行政関係で具体的な審議会

## 庁舎木材の利用策

**宇野邦弘議員** 庁舎建設木材事前調達委託料の中身は。

**町土整備課長** 木材調達の支援のため、「木材調達コーディネーター」に委託する予定。使用する木材が多いため、伐採した材の流通や製材にも精通した者に依頼する。

具体的には、林内に入り設計側が求める伐採木の選定、工事の進捗に応じた材の伐採などの、スケジュール管理も行う。コーディネーターは、昨年度から依頼している方を見込んでいます。

**佐野議員** 庁舎建設材として、一般の方から寄付すると言ってきたら。

**町土整備課長** その際は、検討していきたい。

## 観光関連

**松井議員** 観光開発費の工事請負費の中で、志津原遊歩道工事6825万円は、足羽川沿いでなく道路の横の歩道整備になるのか。

**農村政策課長** 約900mの歩道整備になる。

**丸石議員** いけだ恋い・来い・濃〜いキャンペーンについて、宣伝のターゲット層はあるのか。

## 冠荘入浴料

**岩崎議員** 冠荘の入浴料条例について、今の物価高騰、燃料費高騰は理解しているが、現施設状況で上げるのは反対。

冠荘の利用者は、固定客が多い。多くの方が「上げるのは辞めて欲しい」という意見ばかりだった。

**宇野邦弘議員** 冠荘は、3セフでもあり、こういう時だからこそ、町が支援し、料金維持に努めるべきではないか。

**農村政策課長** 値上げの判断は、運営上の判断となる。池田屋からも現在の料金では苦しいとの声を聞いている。

## ジップアップアドベンチャー

**宇野邦弘議員** ジップアップ利用者が増えるにつれて、更に料金を徴収されるのか。

繁忙期には、係員は料金管理と安全管理が同時に対応できるのか。

**農村政策課長** ジップアップ料金とモノレール料金は、別々のものであり、それぞれ料金を徴収する。

## 料金

**副町長** 繁忙期には、適正にスタッフを配置し、対応すること考えている。

**宇野邦弘議員** コベンチャーパークの料金で、60歳以上は500円、3歳〜59歳が1000円となっているが、どういう区分けをしているのか。

**宇野一正議員** 料金の算定根拠はあるのか。

**農村政策課長** 料金は、他県の類似施設から同等額を算出している。

コベンチャーパークの区分けは、親子のファミリー層を狙っていて、60歳以上の方は、付き添う程度であるため、こうした区分けをした。

# 5月臨時会で新体制スタート

令和5年第1回臨時会(5月10日)において、池田町議会の新たな体制が決まりました。



## 議長就任にあたって 池田町議会 議長 宇野 一正

町民の皆様には、常日頃より我々、町議会に対しまして、特段のご理解とご支援を賜り、心から感謝と御礼申し上げます。

この度、議会の賛同を賜り、議長に就任させていただきました。身に余る光栄とともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。全力で町政の発展及び公正かつ円滑な議会運営に務めて参りたいと考えています。

現在、ようやく新型コロナウイルス感染症の規制も緩和

され、賑わいが戻りつつあります。その中で町内では、冠山峠トンネルをはじめ、新板垣トンネルの開通など間近に迫ってきており、大勢の方々の来町が考えられます。まさに町政発展の好機であります。同時に、交通問題や不法投棄などの懸念も考えられます。我々議会議員が一丸となり、町民の皆様が安全安心に暮らせる町となるよう、全力を尽くしてまいります。

今後とも、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

### 池田町議会役職名簿(敬称略)

(令和5年5月10日現在)

議長	宇野 一正	
副議長	佐野 和彦	
総務厚生 常任委員会	委員長 丸石 純一	副委員長 清水 龍司
	岡村 祐	富田 重弘
	松井 靖明	宇野 邦弘
文教経済 常任委員会	委員長 松井 靖明	副委員長 富田 重弘
	清水 龍司	岡村 祐
	宇野 一正	佐野 和彦
決算 常任委員会	委員長 佐野 和彦	副委員長 富田 重弘
	清水 龍司	岡村 祐
	丸石 純一	松井 靖明
	宇野 邦弘	宇野 一正
足羽川ダム対策 特別委員会	委員長 松井 靖明	副委員長 岡村 祐
	清水 龍司	富田 重弘
	丸石 純一	宇野 邦弘
	宇野 一正	佐野 和彦
広報 特別委員会	委員長 宇野 邦弘	副委員長 清水 龍司
	岡村 祐	富田 重弘
	丸石 純一	
福井県丹南広域 組合議会議員	宇野 一正	佐野 和彦
鯖江広域衛生施設 組合議会議員	松井 靖明	富田 重弘
南越消防 組合議会議員	監査 丸石 純一	清水 龍司
南越清掃 組合議会議員	監査 宇野 邦弘	松井 靖明
公立丹南病院 組合議会議員	監査 佐野 和彦	岡村 祐
福井県後期高齢者 医療広域連合議会議員	宇野 一正	
国民健康保険運営 協議会委員	富田 重弘	清水 龍司
介護保険運営 協議会委員	岡村 祐	
監査委員	佐野 和彦	

### 編集後記



今期新しい新人議員3名を含めた新しい広報特別委員会の体制で編集にあたりました。

「ともかく文字が多すぎ」「写真をもっと」「委員会審議のことをもっと載せて」などの要望もあります。こうした意見を踏まえながら、今後の編集を考えていきたいと思っております。今後ともご意見、ご要望お寄せください。

(宇野邦弘)

議長	議会広報特別委員会			
	委員長 宇野 一正	副委員長 清水 龍司	委員 岡村 祐	委員 富田 重弘
発行責任者	委員 丸石 純一	委員 富田 重弘	委員 岡村 祐	委員 宇野 邦弘
	委員 宇野 一正	委員 清水 龍司	委員 岡村 祐	委員 富田 重弘